

2 計画事業



1 子どもの健やかな成長の支援

1-1 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援

1-1-1

事業名	妊娠・出産への支援				
事業概要	妊娠届の提出により、母子健康手帳とともに、妊婦健康診査と妊婦歯周疾患検診の受診票を配布する。健診は、年間を通じて各医療機関で実施する。				
計画目標	実績（平成30年度）			計画内容	
	<p>◆妊婦健康診査受診者数 26,441人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般健康診査受診票交付 14枚/人 ・超音波検査受診票交付 3枚/人 ・子宮頸がん検診受診票交付 1枚/人 <p>◆妊婦歯周疾患検診受診者数 911人</p> <p>◆母子健康手帳交付時面接（ネウボラ面接） 件数 2,154件</p>			妊婦の健康リスクを把握し、母体や胎児の健康確保及び経済的負担の軽減を図るため、妊婦健康診査等に係る費用の一部を助成する。また、妊婦歯周疾患検診を実施し、歯周疾患のリスクが高まる妊娠期の口腔衛生の向上を図る。	
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
	○				

1-1-2

事業名	母親・両親学級				
事業概要	妊婦及びその配偶者等を対象に、出産・育児について学ぶ機会を提供するとともに、仲間づくりを行い、親となる準備を支援する。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
	○				

1-1-3

事業名	乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん訪問事業）				
事業概要	生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を対象に、母子の健康管理や子育てに関する情報提供を行うとともに、悩みや不安を聴き、適切なサービスに結び付ける。				
計画目標	実績（平成30年度）			計画内容	
	子どもが生まれた家庭のうち91%に対し、保健師・助産師が訪問を行った。			対象家庭に対し、保健師・助産師が訪問し、母子の健康管理や子育てに関する情報提供を行う。支援が必要な家庭に対しては、保健師による相談を継続し、関係機関と連携して適切な支援を行う。	
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
		○			

1-1-4

事業名	産後ケア事業				
事業概要	「文京区版ネウボラ事業」の一環として、出産後の母子に対して心身のケアや育児のサポート等きめ細かい支援を行い、産後も安心して子育てができる体制をつくる。				
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
		○			

1-1-5

事業名	乳幼児家庭支援保健事業				
事業概要	乳児家庭全戸訪問事業や乳幼児健診における虐待予防スクリーニングの実施により、子育て困難家庭や虐待の危険性のある親子を早期に発見し、適切な支援を行い、虐待を予防する。				
計画目標	実績（平成30年度）			計画内容	
	4か月児健診受診者に対し支援検討を行い、支援を要すると判断した方に対し、保健サービスセンター事業や保健師による支援、必要に応じた関係機関との連携による支援を行った。 相談実施回数 172回			育児不安や育児ストレスを抱え、支援が必要な養育者に対し、個別相談やグループ支援を継続的に行い、虐待の発生を予防する。講演会等で広く乳幼児の発達や育児に関する知識を啓発することで、養育者の不安や心配の解消を図る。	
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
		○	○		

1-1-6

事業名	ぶんきょうハッピーベイビープロジェクト				
事業概要	<p>子どもを望むすべての区民が安心して子どもを産み、育てられるよう、区民自らの主体的な健康維持・増進に向けた取組を支援するとともに、妊娠出産等に関する正確な情報を提供していく。</p> <p>このため、予防医療コンサルタントや医師、民間事業者等を構成員とする「ぶんきょうハッピーベイビー応援団」を設置し、妊娠・出産等に関する啓発冊子の作成及び配布等、情報提供をしていくことで、妊娠から出産まで切れ目のない支援を行う。</p>				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
	○				

1-1-7

事業名	男性不妊治療検査費助成事業				
事業概要	<p>不妊検査を希望する男性区民（妻が40歳以上43歳未満）で、保険診療外の精液検査及び内分泌検査を受けた方を対象に、検査費の一部を助成する。助成は1回に限り、自己負担額又は上限額1万円のいずれか低い額を助成する。</p>				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
	○				

1-1-8

事業名	特定不妊治療費助成事業				
事業概要	<p>特定不妊治療（体外受精または顕微授精）を行い、東京都特定不妊治療費助成を受けた夫婦で、申請時に文京区に住民登録をしている方を対象に治療費の一部を助成する。助成額は、特定不妊治療費に対して、東京都特定不妊治療費助成額を除いた額のうち1年度あたり10万円を上限として助成する。</p>				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
	○				

1-1-9

事業名	特定不妊治療費融資あっせん・利子補給事業				
事業概要	<p>文京区在住の夫婦で、特定不妊治療（体外受精・顕微授精）を受ける方に対し、治療費の融資あっせん・利子補給を行う。</p>				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
	○				

1-1-10

事業名	平日準夜間小児初期救急診療事業				
事業概要	<p>地域における小児医療体制の充実を図るため、平日準夜間（午後8時～午後11時）の小児初期救急診療事業として、都立大塚病院に豊島区と共同で「豊島文京（平日準夜間）こども救急」を設置する。</p> <p>※対象は、15歳以下の中学生までの方。</p>				
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
		○	○	○	○

1-2 子どもの健康増進

1-2-1

事業名	乳幼児健康診査				
事業概要	4か月から3歳までの乳幼児を対象に、発育・発達状態の健康診査を実施し、疾病の早期発見に努めるとともに、育児に必要な保健指導を実施する。				
計画目標	実績（平成30年度）		計画内容		
	4か月児健康診査 年60回実施 1歳6か月児健康診査（歯科） 年42回実施 3歳児健康診査 年42回実施		健康診査により、疾病を早期に発見し、適切な治療や養育につなげる。子育てのストレスや育児不安を持つ等子育てが困難な家庭を把握し、関係機関と連携して支援を行う。		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
		○	○		

1-2-2

事業名	発達健康診査				
事業概要	運動発達の遅れや精神発達の偏りが疑われる乳幼児について、専門医による診察・相談を行い、子どもの発達の問題を早期発見するとともに、関係機関と連携し、適切な療育につなげる。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
		○	○		

1-2-3

事業名	乳幼児期の口の健康づくり				
事業概要	1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査、歯科保健相談において歯科健診、保健指導を実施する。希望者には、歯科医師の指示の下、フッ化物歯面塗布を行い、むし歯予防対策を実施する。 また、4か月児健康診査、育児グループ等でも、歯が生えていない時期から各月齢に応じた歯と口腔の健康づくりを啓発し、口腔機能の健やかな成長の支援を行う。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
		○	○		

1-2-4

事業名	障害者・児歯科診療事業				
事業概要	障害者・児等で口腔疾患の予防と治療・口腔機能の改善を必要としている方を対象に、歯科治療や各種相談等を行い、障害者・児等に歯科診療の機会を提供する。また、高次医療機関や地域のかかりつけ医へも繋げていく。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
			○	○	○

1-2-5

事業名	栄養指導講習会				
事業概要	母子の健康管理の観点に基づき、バランスのとれた食事、妊娠中に特に注意したい食品・栄養素についての知識や、出産後の家族の食生活も視野に入れた技術を伝達するための講習会を実施する。 また、離乳期から幼児期までの子どもの発達に合わせた適切な食事作りを家庭で実践できるよう支援するため、講習会等を開催する。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
	○	○	○		

1-2-6

事業名	食育サポーター				
事業概要	区とともに食育を推進していく食育サポーターを育成するため、講習会等を実施する。				
計画目標	実績 (平成 30 年度)		計画内容		
	小学 3～4 年生を対象とした講習会を実施した。 ◆子ども野菜塾のべ参加者数 46 人		食の面から健康になれるよう、食育を推進していく食育サポーターを育成するため、講習会等を実施する。		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
				○	

1-2-7

事業名	シックハウス対策の普及啓発				
事業概要	室内環境に起因するアレルゲンの発生抑制やシックハウス症候群の未然の発生防止に努め、区民の健康的な居住環境を確保することを目的として、パンフレットやホームページ、講習会等を通じて広報活動を行い、区民に正しい知識の普及を図る。 また、健康的な居住環境を確保するため、相談を受けるとともに、状況と希望によって家庭の室内環境調査を実施し、助言・指導を行う。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
	○	○	○	○	○

1-2-8

事業名	障害児スポーツ事業				
事業概要	水泳教室等の障害児向けスポーツ事業を実施し、スポーツに触れる機会を提供するとともに、スポーツの楽しさや魅力を伝える。また、スポーツ施設改修時には、積極的にバリアフリー化を推進する等、利用者の誰もが安全快適に利用できる施設環境に整備する。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
				○	○

1-2-9

事業名	屋外スポーツ施設での「まるごと子育て応援事業」				
事業概要	子どもが外で自由に遊ぶ場所が不足している現状をふまえ、屋外スポーツ施設（六義公園運動場及び後楽公園少年野球場）を活用し、未就学児を対象とした外遊びの機会を提供する。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
		○	○		

1-3 子どもの発達に寄り添った支援

1-3-1

事業名	児童発達支援センターの運営				
事業概要	児童発達支援センターにおいて、発達面や行動面に関する支援を必要とする子どもに対して、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練を行うとともに、障害児通所支援を利用する児童の障害児支援利用計画を作成し、定期的にモニタリングを行う。また、地域の障害児やその家族への相談支援、障害児を預かる施設への援助・助言などの地域支援を行う。				
計画目標	実績（平成30年度）		計画内容		
	○児童発達支援 年間延べ在籍者数：78人 ○放課後等デイサービス 年間延べ在籍者数：124人 ○障害児相談支援 年間障害児支援利用計画作成数：490件		支援の必要性が高い子どもの利用等を踏まえた専門職員の配置及び職員の資質向上による提供体制の充実を図るとともに、障害児相談支援は、増加傾向にある利用計画及びモニタリングに対応できる体制整備を検討する。また、総合相談室で行っている機能訓練・グループ指導の法内化による児童発達支援センターの拡充を検討する。		
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
		○	○	○	○

1-3-2

事業名	児童発達支援					
事業概要	児童福祉法に基づき、未就学の障害児を対象に心身の発達を促し、日常生活における基本的な動作等の習得、社会生活・集団生活などへの適応能力の向上を図るために個に応じた適切かつ効果的な指導及び訓練を行う。					
計画目標	実績（平成30年度）		計画内容			
	実利用者数は増加しているものの、目標値には達しない結果となった。一方で、延利用日数の増加が顕著であり、目標値も達成している。このことから、一人の児童が、複数事業所を利用するケースが増えていることが考えられる。 ◆実利用者数 188人 ◆延利用日数 14,954日		児童発達支援センター等において、障害児に対する日常生活における基本的な動作の指導、知識・技能の付与、集団生活への適応訓練等を行う。			
	項目	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
	実利用者数	242人				
延利用日数	11,965日					
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生	
		○	○		※	

1-3-3

事業名	放課後等デイサービス					
事業概要	就学している障害児に対して、放課後や夏休み等の長期休暇中において、生活能力向上のために必要な訓練等を行うことで、障害児の自立を促進するとともに、放課後等の居場所とする。					
計画目標	実績（平成 30 年度）		計画内容			
	実利用者数は前年度に比べて 15 名増加しており、概ね目標値に達していると言える。利用ニーズの高いサービスであり、近隣区の事業所を利用している児童も多いため、区内の事業所数の不足や、契約事業所での予約の取りにくさが、延利用日数が微増となった要因と考えられる。 ◆実利用者数 340 人 ◆延利用日数 29,016 日		利用希望者の増加は、今後も見込まれるため、利用者のニーズの把握や事業所との連携により、サービス利用に関する支援を行っていく。また、区の指導検査などで事業所が適切に運営されているかを確認し、個々利用者の状況に応じた適切な支援が行われるよう、事業所と連携を図っていく。			
	項目	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
	実利用者数	413 人				
延利用日数	49,560 日					
対象ライフステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	
		○	○	○	○	

1-3-4

事業名	医療型児童発達支援					
事業概要	児童福祉法に基づき、肢体不自由があり、理学療法等の機能訓練や医療的管理下での支援を要する児童に対し、児童発達支援及び治療を行う。					
計画目標	実績（平成 30 年度）		計画内容			
	現状で、本事業を実施しているのは都立の医療機関のみであり、通所先が限られることから、利用実績は少数にとどまっている。 ◆実利用者数 3 名 ◆延利用日数 242 日		医療的な支援が必要な障害児に対して、児童発達支援及び治療を行うことで、障害児の心身の発達を促進する。			
	項目	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
	実利用者数	11 人				
延利用日数	561 日					
対象ライフステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	
		○	○	○	○	

1-3-5

事業名	居宅訪問型児童発達支援				
事業概要	児童福祉法に基づき、人工呼吸器などの医療的ケアが必要な障害児又は感染症の恐れがあり著しく外出が困難な障害児に対し、居宅を訪問し、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練その他必要な支援を行う。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
		○	○	○	○

1-3-6

事業名	医療的ケア児支援体制の構築				
事業概要	医療的ケア児が、未就学期・学齢期・成人期のライフステージに応じて円滑かつ適切な支援を受けられるように、保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関による協議の場を設置し、適切な支援体制の構築に向けた課題・対策等について協議を行う。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
		○	○	○	○

1-3-7

事業名	医療的ケア児支援調整コーディネーターの配置				
事業概要	医療的ケア児に対する総合的な支援体制の構築に向けて、関連分野の支援を調整するコーディネーターとして養成された相談支援専門員等の配置を促進する。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
		○	○	○	○

1-3-8

事業名	文京版スターティング・ストロング・プロジェクト				
事業概要	集団参加や対人コミュニケーションなどの社会的スキル等の成長が乳幼児期から促されるように、臨床心理士等の専門家チームが幼稚園、保育園、児童館等を訪問し、専門的発達支援を行う。また、保護者に対しても専門的観点から育児方法などを伝え、より質の高い育児環境を整え、健やかな育ちを支えていく。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
		○	○		

1-3-9

事業名	専門家アウトリーチ型支援				
事業概要	<p>専門家（臨床心理士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、特別支援学校教員、保育士等）によるコンサルテーションを通して、保育園、幼稚園、学校等の対応力の向上を図る。「発達支援」「特別支援」「適応支援」の3分野に渡り対応する。</p>				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 <small>（3歳未満）</small>	就学前 <small>（3歳以上）</small>	小学生	中高生
		○	○	○	○

2 より良い子育てを支える取組

2-1 保育所・幼稚園の充実

2-1-1

事業名	文京区版幼児教育・保育カリキュラム				
事業概要	区立保育園・区立幼稚園で等しく質の高い幼児教育・保育を提供する環境を整えるため、文京区版幼児教育・保育カリキュラムについて各園で実践・検証する。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
		○	○		

2-1-2

事業名	区立保育園の運営				
事業概要	保護者の就労等により保育を必要とする児童を預かる認可保育所として区立保育園18園を運営し、文京区版幼児教育・保育カリキュラムの実践等の取組を推進するとともに私立認可保育所等との連携を図る。 また、園舎の老朽化に伴い、必要な施設改修を行い、快適な保育環境の整備を進める。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
		○	○		

2-1-3

事業名	区立保育園障害児保育				
事業概要	区立保育園において、保育が必要な児童のうち、心身の発達に関し特別な配慮が必要な児童に対し、個別指導計画に基づく集団保育を実施する。				
計画目標	実績 (平成30年度)		計画内容		
	各区立保育園において、特別な配慮を要する児童44人に対し、個別指導計画に基づく集団保育を実施した。 ◆実施保育園数 18園 (全園) ◆入園児童数 44人		特別な配慮を要する児童に対して、個別指導計画に基づく集団保育を実施することにより、児童の発達を支援する。また、区立保育園と教育センターとの交流研修等により職員の資質向上を図るとともに、教育センターが実施する発達支援巡回相談事業等を活用し、臨床心理士や作業療法士等との連携により効果的な支援を行う。		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
		○	○		

2-1-4

事業名	区立保育園年末保育				
事業概要	年末の保育園休園期間中、保護者の就労等により家庭で保育を受けることができない児童を対象に区立保育園3園（各園30名定員）で年末保育を実施する。				
計画目標	実績（平成30年度）			計画内容	
	前年度から引き続き千石保育園1園で実施した。 30年度は12月30日が日曜日のため、29日のみ実施し、申込人数及び実際の利用人数はともに5人であった。			現行3園（1日あたり1園30人定員）での実施としているが、毎年度需要調査を行い、当該年度の実態に合わせて実施園数を調整する。	
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
		○	○		

2-1-5

事業名	認証保育所の運営補助				
事業概要	認証保育所に対する運営の補助を行うことで、良好な保育環境の維持を図る。				
計画目標	実績（平成30年度）			計画内容	
	区内3園及び区内在住の乳幼児が通う区外認証保育所（48園）への補助を行い、良好な保育環境の維持に繋げることができた。			東京都が独自の基準で認証する認証保育所の支援を行う。区の内外を問わず、区民が通う認証保育所に対して運営の補助を行うことで、良好な保育環境の維持を図る。	
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
		○	○		

2-1-6

事業名	区立お茶の水女子大学こども園の運営				
事業概要	国立大学法人お茶の水女子大学と協働で開設した区立の保育所型認定こども園について、運営業務全般を大学に委託する。当該施設で質の高い保育サービス・幼児教育を提供するとともに、教育カリキュラム開発等の実践研究を通じて、望ましい幼児教育・保育環境を探索し、その研究成果を区内の保育・幼児教育施設に還元する。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
		○	○		

2-1-7

事業名	グループ保育室運営				
事業概要	待機児童対策として区立後楽幼稚園の一室を利用した保育室（認可外）で、保護者が就労などのために日中保育ができない3歳未満の児童の保育を行う。				
計画目標	実績（平成30年度）			計画内容	
	29年度と同様に定員12名での保育室の運営を実施した。			待機児童の状況をふまえ、後楽幼稚園内の保育室において、3歳未満の児童の保育（定員12名）を実施する。	
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
		○			

2-1-8

事業名	私立認可保育所等の開設を中心とした待機児童対策				
事業概要	増加する保育ニーズに対応するため、私立認可保育所等の整備を促進し、保育サービスの量的拡大を図る。				
計画目標	実績（平成30年度）			計画内容	
	平成30年度期中及び平成31年度当初までに、公有地の活用による3施設を含む私立認可保育所等を20施設（定員計947人）開設した。			待機児童数の動向を見極めながら、活用可能な公有地の情報収集や民間保育事業者に対する区独自支援策等により、私立認可保育所等の整備を促進し、待機児童の解消を目指す。	
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
		○	○		

2-1-9

事業名	私立認可保育所等の質の向上				
事業概要	私立認可保育所等の保育の質の向上を図るため、保育施設に対する指導検査を実施するとともに、保育士等専門職が適宜巡回し、保育内容の確認・助言を行う。				
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
		○	○		

2-1-10

事業名	保育士等キャリアアップ事業				
事業概要	保育士等が保育の専門性を高めながら、やりがいを持って働くことができるよう、保育士等のキャリアアップに向けて取り組む事業者への支援をすることで、保育サービスの質の向上を図る。				
計画目標	実績（平成30年度）		計画内容		
	交付対象施設・事業に勤務する職員の人件費のうち、賃金改善に要した経費について交付を行った。 ◆認可保育所 33園 ◆小規模保育事業 9園 ◆家庭的保育事業 3施設 ◆企業主導型保育事業 3施設 ◆居宅訪問型保育事業 1施設 ◆認証保育所 1園 ◆事業所内保育事業 1施設		本補助金の活用を図ることで、保育士の確保・定着を図る		
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
		○	○		

2-1-11

事業名	福祉サービス第三者評価制度の活用				
事業概要	区立保育園において福祉サービス第三者評価を受審するとともに、第三者評価を受審する私立認可保育所に対し補助を行うことにより受審を推進し、保育の質の向上及び区民への情報提供の促進を図る。				
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
		○	○		

2-1-12

事業名	区立幼稚園の認定こども園化				
事業概要	質の高い幼児教育・保育を提供するために、区立幼稚園の認定こども園化を目指す。				
計画目標	実績（平成 30 年度）			計画内容	
	<p>明化幼稚園は実施設計が完了し、柳町こどもの森は実施設計に着手した。また、後楽幼稚園及び湯島幼稚園の認定こども園化を教育委員会において決定した。区立幼稚園の認定こども園化は4園目となり、認定こども園化は進んでいる。</p>			<p>区立幼稚園の認定こども園への移行については、校舎の改築・改修に合わせ整備する方針とし、その時々における保育所待機児童数や幼稚園の充足率の状況、区内の地域バランス等について、総合的に考慮の上、個別に検討していく。</p>	
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
		○	○		

2-1-13

事業名	区立幼稚園特別保育				
事業概要	区立幼稚園において、特別な支援が必要な幼児が集団の中で生活することを通して、幼稚園教育の機能や特性を活かしながら、その幼児の発達を促していく。				
計画目標	実績（平成 30 年度）			計画内容	
	<p>区立幼稚園における特別保育のための特別保育補助員及び臨時職員を配置した。</p> <p>支援の充実を図るため、特別支援教育相談委員会を開設し、特別保育等の認定を行った。そして、個に応じた支援を図るとともに指導計画を作成した。</p> <p>特別支援教育連携協議会の専門家チームの巡回指導やBSSPの実施を受け、幼稚園教諭等への指導助言を活用した。</p> <p>就学支援シートの周知及び活用推進を行った。</p> <p>◆個別指導計画作成者数 継続 22人 新規 38人</p>			<p>特別な支援が必要な幼児の入園後の支援体制をより充実させるために、特別保育補助員を増員するとともに補助員を対象とした研修を行う。また、園での支援が小学校や関係機関などへとつながり、連携も深められるよう、個別の教育支援計画を作成する。</p> <p>引き続き、特別支援連携協議会の専門家チームによる巡回指導やBSSPの実施の活用、就学支援シートの周知及び活用を推進していく。</p>	
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
			○		

2-1-14

事業名	区立幼稚園の預かり保育					
事業概要	祝休日、幼稚園休業日、年末年始（12月29日から1月3日まで）を除き、午前8時から教育課程開始前および教育課程終了後から午後6時まで（長期休業中は、月曜日から金曜日までの午前9時から午後6時まで）預かり保育を行う。保護者の就労等の要件による月を単位とした「登録利用」と、必要に応じて利用可能な日を単位とした「一時利用」を実施する。					
計画目標	実績（平成30年度）			計画内容		
	30年度より減免制度を導入し、より利用しやすくなった結果、実績が目標値に達した。また、減免規定を拡大することにより、さらに利用しやすい環境を整備した。 ◆一園一月当たりの平均利用回数 405人			保育園待機児童緊急対策を受け、また、区立幼稚園における保育内容の充実を図る観点から、区立幼稚園全園（10園）において、在園児を対象に長期休業中（夏休み等）を含め、預かり保育を実施する。 保護者が必要に応じて利用できる一時預かり保育も実施しており、今後、全ての園が登録利用も一時利用もさらに利用しやすい環境を目指す。		
	項目	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
	一園一月当たりの平均利用回数	413	421	429	437	445
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生	
			○			

2-1-15

事業名	私立幼稚園長時間預かり保育事業費補助					
事業概要	長時間の保育を必要としている園児の受入れを促進し、幼稚園教育の振興と保育所等の待機児童の解消を図ることを目的として、区内私立幼稚園が行う長時間預かり保育事業に対し、補助を行う。					
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生	
			○			

2-1-16

事業名	私立幼稚園運営事業補助					
事業概要	区内私立幼稚園が幼児教育の振興・充実を図るために行う預かり保育、未就園児向け施設開放、育児相談等の事業に対し、補助を行う。					
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生	
			○			

2-1-17

事業名	私立保育園運営補助				
事業概要	保育を行う児童の在籍する保育所等が実施する保育事業について、当該事業に係る経費の一部を補助することにより、利用者負担の軽減及び保育サービスの向上を図る。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
		○	○		

2-1-18

事業名	保育園延長保育				
事業概要	保護者の勤務時間（通勤時間を含む）等の都合により保育の必要がある1歳児クラス以上の児童を対象に、午後6時15分から午後7時15分まで、延長保育を実施する。				
計画目標	実績（平成30年度）		計画内容		
	延長保育実施園数は、にじのいるか保育園千石第二外10園の新規開設に伴い、75園となった。		私立認可保育園の開設予定に伴い、延長保育実施園の増を行う。また、一時的に児童の引取りが遅くなる場合に限定した、延長保育スポット利用の制度を実施する。		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
		○	○		

2-2 多様な保育ニーズへの対応

2-2-1

事業名	緊急一時保育・リフレッシュ時保育				
事業概要	区立保育園において、一時的に保育が必要な乳幼児を対象に、緊急一時保育事業を実施する。また、緊急一時保育事業の利用に空きがある場合、要件を問わず利用できるリフレッシュ時保育事業を実施する。				
計画目標	実績（平成30年度）		計画内容		
	区立保育園緊急一時保育・リフレッシュ一時保育事業併せた30年度実績は6,369人で29年度の6,830人より減少しているが、減少幅は1園で1月あたり約2人分のため、在宅子育て家庭の一時的な保育の需要は横ばいである。		在宅子育て家庭が一時的に保育が必要になった時の支援として、引き続き区立保育園で一時保育事業を行う。		
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
		○	○		

2-2-2

事業名	一時保育（キッズルーム）				
事業概要	満1歳から就学前までの幼児の保護者を対象に、育児疲れのリフレッシュや学校、幼稚園等の行事参加など多様な保育需要に対応するため、一時保育所を運営し、保護者の社会活動への参加等を推進する。				
計画目標	実績（平成30年度）		計画内容		
	29年7月からホームページによる空き状況の公開を開始し、利用者の利便性の向上を図ることができた。また、30年度は、貧困家庭への支援を強化するため、本事業利用者を前年度住民税非課税世帯等に対する利用料の一部助成制度の対象とした。		育児疲れによるリフレッシュや学校・幼稚園等の行事参加など多様な保育需要に対応するため、一時保育所の運営を行う。また、多様化する保育ニーズに対応するため、令和5年度に新たな一時保育所の開設を行い、保護者の社会活動への参加等を推進する。		
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
		○	○		

2-2-3

事業名	病児・病後児保育					
事業概要	<p>病中又は病気の回復期にあるお子さんを、家族の介護や勤務の都合等やむを得ない事由により、集団保育や家庭での保育をすることができないとき、区が委託する医療機関等で、保育を行う。</p>					
計画目標	実績（平成30年度）			計画内容		
	<p>病児・病後児保育施設の運営を行い、病気により集団保育の困難な児童を一時的に預かることで保護者の就労等を支援することができた。また、民間事業者の訪問型病児・病後児保育を利用した際の費用の一部を助成することにより、経済的負担の軽減を図った。</p> <p>30年度は、貧困家庭への支援を強化するため、前年度住民税非課税世帯等に対する利用料の全額助成制度の対象とした。</p>			<p>病児・病後児保育施設の運営を行い、病気により集団保育の困難な児童を一時的に預かることで、保護者の就労等を支援する。</p> <p>増加する病児・病後児の保育ニーズに対応するとともに、施設の地域偏在を解消するため、令和2年度、令和3年度にそれぞれ新規施設を開設する。また、民間事業者の訪問型病児・病後児保育を利用した際の費用の一部を助成する。</p>		
	項目	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
	実施施設	3か所	4か所	4か所	4か所	4か所
	利用想定人数	2,556人	3,076人	3,154人	3,228人	3,293人
対象ライフステージ	妊娠期	就学前 <small>（3歳未満）</small>	就学前 <small>（3歳以上）</small>	小学生	中高生	
		○	○	○		

2-2-4

事業名	子育て訪問支援券事業				
事業概要	<p>保護者が、病気、通院、育児疲れによるリフレッシュ等のため、シッターの派遣を希望する場合に、子育て訪問支援券を交付する。区が指定した民間のシッター事業者の中から、利用者が自分で選択することで、多様化するニーズに対応するとともに、安全・安心なシッターサービスを提供する。</p>				
対象ライフステージ	妊娠期	就学前 <small>（3歳未満）</small>	就学前 <small>（3歳以上）</small>	小学生	中高生
		○	○		

2-2-5

事業名	子育て短期支援事業（ショートステイ・トワイライトステイ）				
事業概要	保護者が病気や出産等により、緊急かつ一時的に子ども（生後7日目から小学生まで）を自宅で保育することが困難になった場合に、宿泊を伴う一時預かりを行うことで、子育て支援を推進するとともに児童及び家庭の福祉の向上を図る。				
計画目標	実績（平成30年度）		計画内容		
	ショートステイ・トワイライトステイ事業の実施により、保護者が出産、疾病、就労などの事由による利用を行うことで、保護者の子育て及び就労の両立を支援するとともに、子ども家庭支援センターとの連携により、育児疲れ等の一時的な休養を必要とする子育て世帯の支援を行った。 ◆延利用日数 ショートステイ 461日 トワイライトステイ 144日		緊急時等に2か所のショートステイ実施施設において、児童の短期的な養育を行い、子育て世帯の支援を行う。		
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
		○	○	○	

2-2-6

事業名	障害者・児の短期入所（ショートステイ）					
事業概要	自宅で介護する人が病気や休養を要する場合に、障害者・児が施設等に短期間入所し、入浴、排せつ、食事の介護、その他必要な支援を受けることで、在宅生活の支援と介護者の負担軽減を図る。					
計画目標	実績（平成30年度）		計画内容			
	介護者が病気や休養を要する場合等にサービスを提供し、障害者・児の在宅生活の支援を行い、介護者の負担軽減を図った。 ◆実利用者数 福祉型：25人、医療型：5人 ◆延利用日数 福祉型：401日、医療型：133日		利用を希望する区民が公平にサービスを受けられるよう、その方策を事業所と連携を図りながら検討していくとともに、引き続き、適正なサービス支給量を決定していく。			
	項目	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
	福祉型 実利用者数	167人				
	福祉型 延利用日数	5,682日				
医療型 実利用者数	10人					
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生	
		○	○	○	○	

2-2-7

事業名	障害者・児の日中短期入所事業					
事業概要	自宅で障害者・児を介護する方が病気の場合等に、短期入所施設で宿泊を伴わずに、日中の見守り、入浴・排せつ・食事の介護等を行い、在宅生活の支援と介護者の負担軽減を図る。					
計画目標	実績（平成30年度）			計画内容		
	介護者が病気の場合等にサービスを提供し、障害者・児の在宅生活の支援を行い、介護者の負担軽減を図った。 ◆実利用者数 24人 ◆延利用回数 236回			利用者のニーズと利用実態の把握に努め、適正なサービスの支給決定を行っている。		
	項目	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
	実利用者数	65人				
	延利用回数	1,230回				
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生	
		○	○	○	○	

2-2-8

事業名	障害者・児の短期保護					
事業概要	心身障害者・児の介護にあたっている家族等が疾病・事故・冠婚葬祭・出産・休養・学校行事等の理由で介護を行うことが困難な場合に、文京藤の木荘（文京槐の会内）において、家族に代わり時間単位で保護を行い、介護等の負担を軽減する。					
計画目標	実績（平成30年度）			計画内容		
	社会福祉法人文京槐の会へ委託し、文京槐の会内藤の木荘にて事業を実施している。幼児期から成人までの利用者が多いため、学校等の長期休暇期間の利用が増えている。また、より繊細な配慮が必要な利用者も増えているため、環境や支援体制など情報共有を行いながら、支援を行っている。 ◆実利用者数 77人 ◆延利用時間 6,505時間			障害者・児それぞれの特性や心身の安定に配慮しながら事業を実施していく。		
	項目	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
	実利用者数	73人				
	延利用時間	6,755時間				
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生	
		○	○	○	○	

2-2-9

事業名	医療的ケア児在宅レスパイト事業				
事業概要	医療的ケアが必要な在宅の障害児を介護する同居の保護者等の一時休息（レスパイト）を図るため、看護師又は准看護師を居宅に派遣し、医療的ケア等を行う。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
		○	○	○	○

2-2-10

事業名	障害者・児の緊急一時介護委託費助成				
事業概要	障害者・児を日常的に介護している家族が、冠婚葬祭・疾病等の理由により一時的に障害者の介護を行うことが困難となったときに、障害者・児の家庭や介護人の家庭において介護をうけた場合又は育成室等の送迎の介護を受けた場合、その介護委託に要した費用の一部を障害者本人に助成する。ただし、障害者の配偶者、直系血族及び同居親族を除く介護人の事前登録が必要となる。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
		○	○	○	○

2-3 放課後の居場所づくり

2-3-1

事業名	育成室の整備及び運営					
事業概要	保護者の就労等により、放課後、家庭での保育に欠ける児童（原則として小学校1年生から3年生まで）に対し、指導員が遊びと生活指導を通じて子どもの成長を支援する。また、待機児童の解消を図るため、暫定受け入れ等の対策を講じるとともに必要な地域を精査のうえ、新たな育成室の整備拡充を図る。					
計画目標	実績（平成30年度）			計画内容		
	平成31年4月開室に向けて音羽育成室の開室準備を行った。 また、指導員及び非常勤職員を対象とした研修を実施し、保育の質の向上を図った。			待機児童の状況を鑑み、児童の暫定受け入れ、改修時の面積拡大等の対策を講じるとともに、新たな育成室の整備拡充を図る。整備にあたっては、小学校改築などの機会を捉えて校内での整備場所の確保に努める。 また、子どもの自主性、社会性等をより一層向上させるために、職員研修の内容の充実を図る。そして、児童指導における専門的な知識と経験を有する職員を育成するとともに、各育成室間での情報を共有化し、安定した保育の供給と円滑な運営を行う。		
	項目	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
	育成室数	40	43	45	47	47
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生	
				○		

2-3-2

事業名	育成室の障害児保育					
事業概要	保護者が仕事や病気等のため、放課後等の保育の必要な小学校1年から3年生のうち心身に特別な配慮を要する児童（要配慮児）に対して、健全な育成と保護を図り、必要に応じて学年延長を行う。					
計画目標	実績（平成30年度）			計画内容		
	全育成室37室のうち34室で入室者があり、個別指導計画の作成を行った。なお、3室については要配慮児の入室実績がなかった。			保護者が仕事や病気等のため保育の必要な障害のある児童に対して、健全な育成と保護を図り、必要に応じて学年延長を行う。障害児保育補助の非常勤職員を配置し、受け入れ環境を整えると同時に、指導員のための研修を定期的実施し、保育の質の向上を図る。また、育成室巡回指導を実施し、策定した個別指導計画に基づき、保育の充実を図る。		
	項目	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
	要配慮児保育を行う育成室数	40	43	45	47	47
個別指導計画を作成する育成室数	40	43	45	47	47	
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生	
				○		

2-3-3

事業名	児童館の整備及び運営				
事業概要	児童の健全育成を図るとともに、児童館の耐震化補強を進め、あわせて内装改修及び設備整備を行い、環境を整備する。				
計画目標	実績（平成 30 年度）		計画内容		
	<p>児童館において、トイレの内装工事及び洋式化、遊具修繕工事等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆トイレ内装工事・洋式化実施 3館（柳町、根津、目白台第二） ◆遊具修繕工事実施 4館（柳町、小日向台町、湯島、目白台第二） <p>指導員及び非常勤職員を対象とした研修を行い、保育の質の確保に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆登録者数 全 16 館 34,632 人 		<p>職員研修の内容の充実を図り、放課後全児童向け事業の実施が児童館の利用状況に与える影響も踏まえ、利用実態に合わせた児童館の望ましいあり方について検討する。</p> <p>また、内装改修及び設備整備を行う。</p>		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
	○	○	○	○	○

2-3-4

事業名	放課後全児童向け事業				
事業概要	区立小学校の放課後や学校休業日等に校庭等の小学校の施設の一部を開放し、大人の見守りのもと、小学生が安心して遊びや学びなどの活動ができる、放課後の居場所を提供する。				
計画目標	実績（平成30年度）			計画内容	
	<p>新たに、礪川、駒本、本郷、千駄木、誠之、昭和小学校の6校で事業を開始し、多くの小学生に、安心して活動できる居場所を提供できている。</p> <p>◆実施校 19校 （汐見小学校放課後事業含む）</p> <p>◆実施日数延べ 3,294日</p> <p>◆参加人数 136,581人</p>			<p>令和元年度に窪町小学校で新たに事業を開始し、全区立小学校で事業実施となった。各校には地域の代表や学校関係者等で構成された運営委員会を設置しており、運営委員の意見を反映させながら、地域及び学校の実状に応じた事業の運営を行う。活動場所を固定せずに工夫し、学校内の空きスペースを最大限に活用しながら、実施時間延長など事業の充実を図っていく。</p>	
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
				○	

2-3-5

事業名	民間事業者誘致による都型学童クラブの整備				
事業概要	既存の育成室運営では対応できない時間延長や一時受入れ等の保育ニーズに対応するため、放課後児童健全育成事業を実施する民間事業者を経費の一部を補助する。				
計画目標	実績（平成30年度）			計画内容	
	<p>ベネッセ学童クラブ音羽（2支援分）及び春日に対し、施設の運営に係る経費の一部に対する補助を実施した。また、新たに区内への誘致を1ヶ所（ベネッセ学童クラブ千石、平成31年4月1日開設）行い、施設整備に係る経費の一部に対する補助を実施した。</p> <p>◆運営費補助等 3支援分（音羽2支援、春日1支援）</p> <p>◆区内誘致（整備費補助） 1か所</p>			<p>区が定める要綱の基準を満たす民間学童クラブを整備・運営する民間事業者に対し、経費の一部を補助する。併せて、東京都へ都型学童クラブ事業補助金を申請する。</p>	
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
				○	

2-4 子育て情報の提供

2-4-1

事業名	情報誌「子育てガイド」の作成				
事業概要	子育て支援事業や困ったときの相談窓口など、子育てに関する情報誌として子育てガイドを作成する。妊娠中から子育てに関する情報を周知し、地域から孤立しやすい乳幼児期の子育て中の保護者を支援するため、母子健康手帳交付時に配付する。 また、文京区に転入した子育て世帯についても窓口にて配布を行う。				
計画目標	実績（平成30年度）			計画内容	
	乳幼児期の子育てに関する情報提供冊子として「子育てガイド」を作成し、母子健康手帳交付時に配付するとともに、文京区に転入した子育て世帯に対しても窓口配付を行い、地域から孤立しやすい乳幼児期の子育て中の保護者を支援した。また、保育施設等の情報を更新した「概要版」を無料配布することで、既に配付した保護者に対しても最新の情報を提供した。 ◆作成部数 5,000部			妊娠中から子育てまでにに関する最新情報を収集し、民生・児童委員、主任児童委員と協働で年1回子育てガイドを発行し、母子健康手帳交付時等に配付するとともに、区ホームページで公開する。 「子育てガイド電子ブック」の作成をはじめ、これまでにない新たな手法での子育て情報の発信に取り組む。	
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
	○	○	○	○	○

2-4-2

事業名	子育て応援メールマガジンの配信				
事業概要	妊婦や乳幼児の保護者が、安心して出産や子育てができるように、おなかの赤ちゃんの様子や産後のお子さんの成長、健康・食事などのアドバイス、子育てサービス等のタイムリーな情報をメールマガジンとして配信する。				
計画目標	実績（平成30年度）			計画内容	
	子育てガイドや区ホームページで事業の広報をするとともに、子育て支援課の各種登録手続き時、保健サービスセンターの健診時等で周知を図った。 また、ポスターやチラシをリニューアルし、より、事業の魅力をアピールする取り組みを実施した。 ◆30年度末の登録者数 2,523名 （産前メール：175名、産後メール：2,348名）			妊娠周期や子どもの月齢に合わせた、タイムリーな行政情報の充実を図る。 また、新たに子どもを授かった世帯に対し、事業案内パンフレット等により、周知を行う。	
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
	○	○	○		

2-4-3

事業名	予防接種モバイルサービス「子育て応援ワクチンナビ」の運営				
事業概要	お子さん一人ひとりに合わせた予防接種スケジュールを自動作成し、種類や回数が多く複雑な接種スケジュール管理に係る保護者の負担軽減として、接種時期等の情報を配信する。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
	○	○	○	○	○

2-4-4

事業名	子育て施策PRイベントの開催				
事業概要	全ての子育て家庭に対して、子育て支援施策の情報を周知するイベントを開催する。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
	○	○	○	○	○

2-4-5

事業名	子育て世帯向けコールセンターの設置等				
事業概要	子どもの手当・医療費助成等を主としたコールセンターを設置し、日中に問い合わせ時間が確保しにくい子育て世帯に対応する。また、コールセンターでの問い合わせ実績を踏まえ、AI 応答窓口の開設準備を行う。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
	○	○	○	○	○

2-5 経済的負担の軽減

2-5-1

事業名	入院助産				
事業概要	「児童福祉法」に基づき、出産時に分娩・入院の費用を支払うことが困難な妊産婦（所得要件あり）に対して、その費用を支給する。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
	○				

2-5-2

事業名	子どもインフルエンザワクチン任意予防接種費用助成制度				
事業概要	生後6か月以上15歳未満を対象としたインフルエンザワクチン任意予防接種は広く行われているため、接種の一部費用助成を子育て中の保護者への経済的な負担軽減の一助として実施する。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
		○	○	○	○

2-5-3

事業名	児童手当				
事業概要	中学校修了前（満15歳に達した日以後の最初の年度末）までの児童の養育者に手当を支給する。（所得制限あり）				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
		○	○	○	

2-5-4

事業名	乳幼児及び義務教育就学児医療費助成				
事業概要	中学校修了前（満15歳に達した日以後の最初の年度末）までの子どもの保険診療による医療費の自己負担分を助成する。（所得制限なし）				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
		○	○	○	

2-5-5

事業名	保育所等利用多子世帯負担軽減事業				
事業概要	子育てに伴う経済的負担の軽減を図り、子どもを多く持ちたい世帯に対する支援となるよう、区内に在住する2人以上の子どもを扶養する世帯で、認可保育所に通う第2子の子の保育料を半額とし、第3子以降の子の保育料を無料とする。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
		○	○		

2-5-6

事業名	認証保育所保育料助成				
事業概要	区内に在住する世帯で、東京都認証保育所を月160時間以上の月極契約で利用する場合、保育料を世帯所得に応じて月額1～5万円の範囲内で助成する。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
		○	○		

2-5-7

事業名	私立幼稚園等保護者負担軽減				
事業概要	私立幼稚園等に在園する園児の保護者に対し、保育料等を助成する。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
			○		

2-6 仕事と生活の調和に向けた取組

2-6-1

事業名	男女平等参画推進事業				
事業概要	固定的な性別役割分担意識にとらわれない、各人の個性と能力を十分に発揮し、互いの違いや多様な生き方を尊重する男女平等参画社会を目指した推進セミナー等を行う。				
計画目標	実績（平成30年度）		計画内容		
	<p>女性の再就職支援セミナーを開催したほか、父親が育児をすることについての写真展や講演を行った。再就職支援セミナーでは、参加者から、今後、働く際のヒントを得たという声が寄せられるなど、好評であった。</p> <p>また、性自認及び性的指向に関する啓発講座と映画会を開催し、参加者からは、性の多様性について考えさせられる内容であったとの声が寄せられた。</p> <p>UN Women（国連女性機関）日本事務所や区内大学、NPO、警察、企業等と連携し、暴力の根絶や国際女性デーの啓発促進事業を行った。</p> <p>啓発誌についても、「男女平等はどこまで」を年間テーマに特集を組み、内容の充実を図った。</p>		<p>固定的な性別役割分業意識にとらわれず、女性も男性も各人の個性と能力を發揮できる男女平等参画社会を目指し、セミナーの実施、啓発誌の発行等を通して意識啓発を行う。また、関係機関と連携し幅広い世代を対象に事業内容の充実を図る。</p>		
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
	○	○	○	○	○

2-6-2

事業名	労働者・事業主への広報・啓発活動				
事業概要	育児と仕事の両立をはじめとする多様な働き方の実現に向けた意識改革を推進するため、関係行政機関や商工会議所等の各種経済団体と連携しつつ、積極的な情報提供に努め、労働者及び事業主への広報・啓発活動を行う。				
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
	○	○	○	○	○

3 子どもの生きる力・豊かな心の育成

3-1 多様な教育ニーズへの対応

3-1-1

事業名	確かな学力育成事業				
事業概要	<p>全小・中学校に非常勤講師を配置し、少人数指導やチーム・ティーチングを実施することにより指導方法を工夫・改善するとともに、対応が困難な学級、授業等に教育課題対応の講師を配置し、複数担任制等を実施するなど学級運営支援を行う。</p> <p>小学校においては、校長の経営方針や重点課題等に対応した指導方法の工夫・改善を行う。中学校においては、東京都の教員加配による少人数指導を補充・強化するとともに、チーム・ティーチング等により指導の充実を図る。</p>				
対象ライフステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
				○	○

3-1-2

事業名	いのちの教育の推進				
事業概要	<p>「いのちと人権を考える月間」(5月、12月)の実施を通して、自尊感情や自己肯定感を高めるとともに、自他の生命を尊重する心、人権を大切に作る心や態度を育てる。</p> <p>また、学識経験者、医師、看護師等による「いのちと心の授業」(乳幼児とのふれあいを含む)を年1回実施する。</p>				
対象ライフステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
			○	○	○

3-1-3

事業名	生きる力実現・学校力パワーアップ事業				
事業概要	<p>新学習指導要領、文京区教育振興基本計画の目指す知・徳・体の調和の取れた「生きる力」の実現に向けて、各学校・園が学校評価を基に、幼児・児童・生徒、保護者、地域の期待に応えるために、特色ある教育活動を展開する。</p> <p>学識経験者・専門家・地域人材資源活用、大学等連携による補充学習、教育活動のレベルアップ等を通して、各学校・園ならではの魅力と活力あふれる教育活動を推進する。</p>				
対象ライフステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
			○	○	○

3-1-4

事業名	子どもの健康・体力アップ事業				
事業概要	子どもたちの生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現に向け、区内大学との連携や支援人材の配置等、文京区がもつ教育資源の活用により、子どもたちの健康・体力の向上を図る。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
			○	○	○

3-1-5

事業名	中学生職場体験				
事業概要	文京区立中学校において、特定学年の生徒に、一定期間、地域の商店、地元の民間企業、公的施設等の職場で仕事等の体験をさせることにより、社会の一員としての自覚を促すとともに、望ましい社会性や勤労観・職業観を育成することを目的に、中学校2年生が、3日間実施している。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
				○	○

3-2 教育環境等の整備

3-2-1

事業名	部活動への支援				
事業概要	区立中学校においては、スポーツや文化及び科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等に資するため、部活動指導を推進している。各中学校の学校規模や教員の専門性等の状況に応じ、教員に代わって部活動を指導できる部活動指導員を各中学校2名配置し、技術的指導や専門的指導を行うことにより、部活動全体の充実を図る。				
対象ライフステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
				○	○

3-2-2

事業名	障害及び障害者・児に対する理解の促進				
事業概要	障害者・児が住み慣れた地域社会において、差別や偏見なく地域の一員として育ち暮らし続けていけるよう、様々な機会を捉えて障害の特性や障害のある人に対する理解を促していく。				
計画目標	実績（平成30年度）		計画内容		
	<p>心のバリアフリーハンドブックの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区立小・中学校に対し教材として配付 ・ふれあいの集いや講演会等での配布等 <p>講演会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域支援フォーラム（区内事業者等が実行委員として参加）において、実行委員主催（区後援）で年1回開催。 		<p>障害の特性や障害のある人について、子どもから大人まで理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会の実施 年1回 ・パンフレット等の作成 		
対象ライフステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
		○	○	○	○

3-2-3

事業名	特別支援教育の充実				
事業概要	<p>文京区教育振興基本計画を踏まえ、区立小学校及び中学校にこれまでの特別支援教育支援員に代わり平成 26 年度から教員免許を有する特別支援教育担当指導員を配置し、交流及び共同学習支援員とともに特別な支援を必要とする児童・生徒の教育的ニーズに応じた適切な指導及び必要な支援を行うことにより、特別支援教育のさらなる充実を図る。</p>				
計画目標	実績（平成 30 年度）			計画内容	
	<p>中学校の特別支援教育担当指導員を 5 人増員し、通常の学級に在籍し、支援を要する生徒によりきめ細やかな支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆特別支援教育担当指導員の配置 小学校 20 校（23 人） ◆特別支援教育担当指導員の配置 中学校 10 校（15 人） ◆交流及び共同学習支援員の配置 小学校 7 校（17 人） ◆交流及び共同学習支援員の配置 中学校 3 校（6 名） 			<p>特別支援教育に係る研修により教員の指導力向上を図るとともに、特別支援教育担当指導員等の人材配置並びに研修、また、その人材の有効な活用に向けた学校への指導・助言、校内における組織的・継続的な支援体制の整備等を進める。インクルーシブ教育の充実に向けて特別支援教育担当支援員と交流及び共同学習支援員の配置規模の重層化を図る。</p>	
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前（3 歳未満）	就学前（3 歳以上）	小学生	中高生
				○	○

3-2-4

事業名	バリアフリーパートナー事業				
事業概要	<p>特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒が個々のニーズに応じた教育を受けることができるようにするため、障害児への支援に理解のある大学生や地域人材等の協力を得て幼児・児童・生徒へのサポートを行う。</p>				
計画目標	実績（平成 30 年度）			計画内容	
	<p>バリアフリーパートナーが特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒に対する理解を深められるよう、NPO 法人と連携し研修を行った。また、NPO 法人のコーディネーターが学校との調整を行い、実際の現場でバリアフリーパートナーの活動を援助することにより、支援の充実を図っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆サポート実施数 幼稚園：7 園、小学校：18 校、 中学校：3 校 			<p>幼児・児童・生徒がそれぞれのニーズに応じた教育を受けられるよう、引き続き大学や NPO 法人と連携し、バリアフリーパートナーの人材確保や、資質の向上を図るための研修等を実施する。</p>	
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前（3 歳未満）	就学前（3 歳以上）	小学生	中高生
				○	○

3-2-5

事業名	日本語指導協力員派遣事業				
事業概要	英語圏以外の外国から日本語が不自由な児童・生徒が入学した際には、学校生活適応への支援の一環として、母語の日常会話ができる日本語指導協力員を1回の派遣期間は60時間を限度として派遣しております。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
				○	○

3-2-6

事業名	学校運営連絡協議会・コミュニティスクール				
事業概要	<p>全幼稚園、小・中学校に「学校運営連絡協議会」を設置し、学校運営や教育活動に地域の意見を反映することによって、学校・家庭・地域が一体となった開かれた学校づくりを推進する。</p> <p>また、コミュニティ・スクールにおいては、「学校運営協議会」が学校運営の基本方針を承認し、教育活動等に意見を述べるなど、地域住民等による学校運営参画を一層推進する。今年度は、小学校6校、中学校3校を指定している。</p>				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
			○	○	○

3-2-7

事業名	学校施設等の計画的な改修・改築等				
事業概要	学校施設の改築や改修を行う。				
計画目標	実績 (平成30年度)		計画内容		
	<p>学校施設改築について、誠之小学校の既存校舎解体を完了させて新校舎建設工事に着手し、明化小学校は実施設計を完了し、柳町小学校は実施設計に着手した。また、校庭改修、給食室整備、外壁・サッシ改修についても、駕籠町小学校校庭改修、大塚小学校給食室改修及び湯島小学校の外壁・サッシ改修の設計、指ヶ谷小学校・根津小学校・文林中学校の外壁・サッシ改修工事を実施しており、教育環境の向上を図ることができている。</p>		<p>子どもたちの良好な教育環境を確保するため、老朽化校舎の改築、計画的な施設の改修及び小学校の学級数増への対応を行います。</p>		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
			○	○	○

3-2-8

事業名	教育情報ネットワーク環境整備				
事業概要	<p>児童・生徒の情報活用能力の育成や、教科指導におけるICT機器活用の推進、校務の情報化による教員の負担軽減などを図るため、質の高い教育情報ネットワーク環境を管理し、教育の質の向上につなげる。また、教育用タブレット等ICT機器配置の拡充について検討する。</p>				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
				○	○

3-3 家庭と地域の教育力向上

3-3-1

事業名	学校支援地域本部事業				
事業概要	地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進することにより、教員の子どもと向き合う時間の増加、住民等の学習成果の活用機会の拡充、及び地域の教育力の向上を図る。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
				○	○

3-3-2

事業名	家庭のふれあいの推進				
事業概要	最も基本的な人間形成の場である家庭の意義を見直し、家族のふれあいやきずなを深めるため、毎月第2日曜日を文京区「家庭の日」と定め、様々な啓発を行う。 また、青少年健全育成会が実施する「家庭の日」啓発事業に対する補助を行う。				
計画目標	実績 (平成30年度)		計画内容		
	<p>家族のふれあいやきずなを深めるため、啓発用「植物の種」を区立小学校全児童に配布した。</p> <p>また、青少年健全育成会が実施する、家族のふれあい促進事業に対し補助を行うとともに、九地区合同行事「文の京こどもまつり」を実施し、家族のふれあいの促進を図った。</p> <p>◆文の京こどもまつり参加者数 約5,000人</p>		<p>最も基本的な人間形成の場である家庭の意義を見直し、家族のふれあいやきずなを深めるため、啓発品の配布や、区ホームページによる啓発を行う。</p> <p>また、青少年健全育成会が実施する合同行事などの「家庭の日」啓発事業に対する補助を行う。</p>		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
			○	○	○

3-3-3

事業名	ブックスタート事業				
事業概要	保健サービスセンター及び保健サービスセンター本郷支所でそれぞれ毎月2回行われている生後4か月児健康診査の際に、ブックスタート事業を実施する。				
計画目標	実績（平成30年度）			計画内容	
	<p>図書館と保健サービスセンターの連携により、ブックスタート事業が定着し、対象者の97.7%に実施した。乳幼児期の絵本との関わりに対する保護者の関心の高まりを受け、絵本の選び方や家庭での読み聞かせについての相談にも対応している。また、平成24年度より、1歳6か月児健診を契機としたフォローアップ事業「としょかんとなかよし」を図書館で実施し、読書活動の推進につなげることができた。</p> <p>◆ブックスタート実施人数 2,045人</p> <p>◆としょかんとなかよし実施人数 1,453人</p>			<p>保健サービスセンターで実施される4か月児健診時に、図書館職員がブックスタートパックを配付し、絵本の読み聞かせと図書館の案内を行う。絵本を介して親子のふれあいを深め、親子の健全なかかわりを育む子育て支援の一助とする。また、乳幼児期からの読書環境や読書活動の一層の充実を図るとともに、成長に伴った読書活動を推進していく。</p>	
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
		○			

3-3-4

事業名	消費生活出前講座（子ども向け）				
事業概要	小・中学生に対し、消費生活に関する知識・情報を広く伝えるため、学校・児童館等の小・中学生が集まる場所に出向き、発達段階に応じた講座を実施する。				
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
				○	○

3-3-5

事業名	消費生活研修会（幼児向け・子ども向け）				
事業概要	幼児・小学生（及びその保護者）を対象とし、発達段階に応じた関心のあるテーマで、消費生活に役立つ研修会を実施する。				
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
			○		

3-3-6

事業名	こども向け文化・学習事業の充実				
事業概要	<p>以下をはじめとした子ども向けのコンサートや各種教室、文化・学習事業を実施する。</p> <p>【公益財団法人 文京アカデミー】 0歳から入場可能なコンサートや小・中学校出前コンサートを実施するほか、夏休み子どもアカデミア講座等を開講する。</p> <p>【文京ふるさと歴史館】 夏休み期間中、小・中学生向けに自由参加型クイズを実施し、広く文京ふるさと歴史館に親しみ、文京区の歴史や文化への興味や関心を高める機会を提供する。</p> <p>【森鷗外記念館】 夏休み期間中の児童を対象としたワークショップや、鷗外や文学等について楽しく親しみながら学べる事業を実施する。(現事業は指定管理者の提案事業であるため、指定期間が終わる4年度以降は、内容変更の可能性あり)</p>				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
		○	○	○	○

3-3-7

事業名	親子スポーツ教室				
事業概要	親子のふれあいを通し、子どもたちの心身の健全な育成と生涯スポーツの普及・振興を図ることを目的とした初心者スポーツ教室を実施する。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
				○	○

3-3-8

事業名	小中学生スポーツ教室				
事業概要	小中学生の心身の健全な育成と、ジュニアスポーツの普及・振興を図ることを目的とした初心者スポーツ教室を実施する。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
				○	○

3-3-9

事業名	【文京 eco カレッジ】親子環境教室				
事業概要	<p>体験型環境学習の機会を区民に提供し、環境問題に対する意識の高揚を図るため、区内の親子等を対象とした「親子環境教室」を開催する。</p> <p>動植物、天気や地球温暖化等さまざまなテーマで、クイズや工作等を交えて楽しく学ぶことができる教室を実施する。</p> <p>対象は区内小学生とその保護者。年6回実施。</p>				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
				○	

3-3-10

事業名	親子生きもの調査				
事業概要	<p>身近な自然を題材に、環境保全を親子で一緒に楽しく学び、地域の環境について考える「親子生きもの調査」を実施する。自然に触れ合う体験型環境学習を通じて、区の自然環境状況把握及び環境保全への意識啓発を行う。対象は区内小学生とその保護者。</p>				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
				○	

3-3-11

事業名	家庭教育支援の推進				
事業概要	<p>家庭における教育力の向上のため、子どもの実態、家庭の現状に即したテーマを内容とする講座等を開設することにより、家庭や地域の教育力のさらなる向上を図る。</p>				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
			○	○	○

3-3-12

事業名	PTA活動との連携強化、活動支援				
事業概要	<p>保護者の学習の場として、また、親同士及び親と教員とのつながりを作る場として、PTA活動を支援することにより、PTA相互の連携を強化し、家庭の教育力を向上させる。</p> <p>PTAを対象とした各種講演会・研修会、家庭教育講座等の企画内容の充実を図るとともにPTA連合会合同行事への支援を行う。</p>				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
			○	○	○

3-3-13

事業名	アカデミア講座等での保育室設置				
事業概要	幼児を持つ親が平日日中シビックセンターで開催する文京アカデミア講座や講演会などの学習活動に参加できるよう、講座等の開催時に保育室を設置する。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
			○		

3-4 青少年健全育成

3-4-1

事業名	文京区青少年育成プラン等の推進				
事業概要	青少年問題協議会での施策検討、青少年健全育成会（平成26年度までの名称：青少年対策地区委員会）で実施する事業等を通じて、文京区青少年育成プラン等を推進する。				
計画目標	実績（平成30年度）			計画内容	
	<p>「青少年健全育成のあり方に関する報告書」の提言を踏まえ、青少年問題協議会において、青少年関係団体の情報交換等を行った。</p> <p>また、「文京区青少年育成プラン」の重点行動である「あいさつ・声がけ・きっかけ作り」について、標語を活用した児童向けのクリアファイルを作成・配布し、啓発を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆青少年問題協議会の開催 1回 ◆標語付きファイルの配布 区立小学校新1年生に配付 			<p>「文京区青少年育成プラン」の育成ビジョン・推進目標・推進項目及び「青少年健全育成のあり方に関する報告書」に基づき、青少年問題協議会において施策を検討・実施する。また、青少年健全育成会（平成26年度までの名称：青少年対策地区委員会）においては、各地区の行動計画に基づき事業を実施する。</p>	
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
			○	○	○

3-4-2

事業名	中高生の居場所の確保（b-lab（文京区青少年プラザ））				
事業概要	中高生向け施設「b-lab（文京区青少年プラザ）」において、中高生にとって魅力的な居場所を提供するほか、文化・スポーツ等の各種講座を実施し、利用者の自主性・社会性を促す。				
計画目標	実績（平成30年度）			計画内容	
	<p>文化・スポーツ・学習支援等の事業を通年で実施するとともに、区立中学校での出張b-lab授業の実施や広報誌・web媒体での広報活動等により周知を図った結果、目標値を超える中高生の利用があり、多くの中高生が事業等に参加した。</p> <p>利用者数 27,934人</p>			<p>より多くの中高生に継続して利用してもらうため、魅力的な居場所づくりとなるよう、利用者による運営への参画、各種講座を実施するなど、より一層の充実を図る。また、広報誌の発行やホームページ等の情報発信により、広く中高生に対して継続した周知を図る。</p>	
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
					○

3-4-3

事業名	ボランティア・市民活動への支援				
事業概要	ボランティア・市民活動センターを運営する社会福祉協議会にて、地域の担い手の育成、福祉教育の充実、ボランティア情報の収集・提供の強化・向上、コーディネート機能の強化等を図る。 【社会福祉協議会実施事業】				
計画目標	実績（平成30年度）			計画内容	
	<p>従来のブース方式の「ボランティアまつり」を、プレゼン形式の「文京つながるメッセ」に変更して開催したことで、地域活動団体が来場者に活動内容をより詳細に伝えられたとともに、参加団体同士のつながりを創出する機会となった。</p> <p>◆文京つながるメッセ参加団体数 52 団体</p>			<p>「文京つながるメッセ」が、地域福祉活動の更なる活性化のイベントになるよう、参加団体や来場者のアンケート等を踏まえて改良しながら実施していく。なお、参加団体は固定化させず、常に時代のニーズに即した構成にしていく。</p>	
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
	○	○	○	○	○

3-4-4

事業名	青少年健全育成会への支援・連携				
事業概要	地域の特性や社会情勢、地域住民のニーズに即した青少年健全育成施策を推進するため、青少年健全育成会への活動支援を行う。				
計画目標	実績（平成30年度）			計画内容	
	<p>地域のニーズに即した青少年健全育成施策を推進するため、地域の特性を活かして実施する青少年健全育成会（九地区）の事業に対して補助を行うとともに、九地区合同行事「文の京こどもまつり」の実施や広報誌「やんぐ」の発行を支援した。また、委員研修会を1回、会長会3回、地区連絡会2回の開催を通して、情報交換や意見交換を行い活動の充実を図った。</p> <p>◆各地区での事業参加者数 11,560 人</p>			<p>青少年健全育成会（九地区）が「青少年健全育成会活動方針」及び「地区対活動のあり方検討会議最終報告」に基づき実施する「青少年の社会参加体験・地域参画事業」等の青少年健全育成事業に対して補助を行う。あわせて、合同行事への支援を行うほか、地区連絡会、委員研修会等を実施する。</p> <p>※「地区対」とは、過去の青少年健全育成会の通称名</p>	
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
			○	○	○

3-4-5

事業名	青少年の社会参加推進事業補助				
事業概要	青少年が社会性を身につけるとともに、地域社会で活動するための知識等を得る機会をより多く提供するため、NPO 等が実施する社会参加推進事業や青年育成事業に補助を行う。				
計画目標	実績（平成 30 年度）		計画内容		
	<p>青少年が社会性を身につけるとともに、地域社会で活動するための知識等を得る機会をより多く提供するため、青少年の社会参加推進事業や青年育成事業の経費の一部について補助を行った。NPO 等の特性を活かした事業や青年自らが企画・運営を行う事業が展開された。</p> <p>青少年の社会参加推進事業 5 事業</p>		<p>NPO 等が特性を活かした青少年の社会参加推進事業や青年育成事業の経費の一部を補助する。</p>		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生
			○	○	○

4 安心して育ち、子育てできる支援体制づくり

4-1 児童虐待防止対策の充実

4-1-1

事業名	児童虐待防止ネットワークの充実				
事業概要	要保護児童対策地域協議会の運営により、虐待などによる要保護児童等について、適切な保護・支援に必要な関係機関相互の情報交換及び状況把握に努め、連携を図る。				
計画目標	実績（平成30年度）			計画内容	
	児童虐待防止のため、関係機関相互の連携を図った。 <相互連携> ◆要保護児童対策地域協議会 代表者会議1回、実務者会議4回、 個別ケース会議53回、 医療関係者会議2回			地域において子どもと家庭に関する支援ネットワークを構築し、関係機関と連携しながら、要保護児童対策地域協議会を運営する。	
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
	○	○	○	○	○

4-1-2

事業名	児童虐待防止対策事業				
事業概要	子育て支援講座の開催や児童虐待防止マニュアルの配布による啓発活動を行う。また、養育家庭体験発表会の開催による養育家庭普及活動を行う。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
	○	○	○	○	○

4-1-3

事業名	育児支援ヘルパー事業				
事業概要	児童虐待への対応及び未然防止を図るため、養育を特に支援する必要がある家庭へ育児支援ヘルパーを派遣する。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
	○	○			

4-2 児童相談所設置及び運営に向けた取組

4-2-1

事業名	児童相談所の設置準備及び運営				
事業概要	<p>平成31年3月に策定した「(仮称)文京区児童相談所基本計画」に基づき、具体的な相談体制及び関係機関との連携等を検討するほか、運営に必要な職員を確保するとともに、他自治体の児童相談所への派遣等により職員育成を図っていく。</p> <p>あわせて、施設整備については、必要な機能を実現するとともに、地域の住環境に配慮したボリュームとなるよう設計、建設工事等を計画的に進めていく。</p> <p>また、開設後については、増加する児童虐待等に迅速に対応するため、子どもと家庭を対象にあらゆる相談に対応し、必要に応じて子どもを一時保護するほか、里親制度など社会的養護の取組を推進する。</p>				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
	○	○	○	○	○

4-2-2

事業名	児童福祉審議会の設置及び運営				
事業概要	<p>児童福祉法に基づく児童福祉審議会(本委員会及び専門部会)を設置・運営する。</p> <p>要保護児童等に対する措置、保育所の認可、児童福祉施設に対する命令等に対し意見を述べるとともに、児童、妊産婦及び知的障害者の福祉に関する調査審議等を行う。また、区長の諮問に応え、または関係機関に意見を具申する。</p>				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
	○	○	○	○	○

4-3 組織横断的な相談体制の構築

4-3-1

事業名	児童を対象とした相談窓口の運営				
事業概要	子どもの権利を守るため、児童・生徒からの相談を受ける窓口を運営するとともに、児童・生徒には、相談窓口等の周知に努める。				
計画目標	実績（平成30年度）		計画内容		
	<p>子ども家庭支援センター（総合相談及び子どもの最善の利益を守る法律専門相談、子育て世帯が抱える経済的な悩みなどに対応する子ども応援サポート室）、教育センター相談窓口を運営した。更に、子ども家庭支援センターにおいては、相談体制の充実のため、巡回相談を開始した。</p> <p>また、子ども家庭支援センターにおいては、相談窓口を紹介するために、区内小・中学校の児童生徒に配付する冊子を作成し、周知につなげることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆小学生用冊子 15,000部 （改訂のため全学年に配付） ◆中学生用冊子 4,000部 （新1年生に配布） 		<p>子どもの権利を守るため、児童・生徒からの相談を受ける窓口を運営する。児童・生徒には相談窓口を紹介するパンフレット等を配付し、虐待やいじめ等の早期発見を図る。</p>		
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
				○	○

4-3-2

事業名	子ども家庭支援センター事業				
事業概要	<p>家庭における子育て及び子どもの健全な育成を支援するため、相談事業、子育て支援講座及び親子ひろば事業を実施し、子育て家庭の孤立化防止と仲間づくりを促進する。児童虐待通告に対する対応を行い、子育て関連機関と連携し、要保護児童・要支援家庭への支援を行う。また、支援を要する家庭に育児支援ヘルパーを派遣するなど養育支援訪問を行う。</p>				
計画目標	実績（平成30年度）		計画内容		
	<p>相談事業の充実に努めるとともに、子育て支援講座や育児支援ヘルパー派遣等により、子育て家庭への支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆相談等対応数（面接、訪問等） 延 12,625 件 ◆子育て支援講座 27回 713人 ◆親子ひろば利用者 延 28,070人 ◆親子ひろば行事開催 414回 9,406人 ◆養育家庭体験発表会開催 1回 58人 ◆子育て関連機関等との連絡調整会議 92回 ◆育児支援ヘルパー派遣 18家庭 延 384回 		<p>児童相談所設置に向け、相談員の相談スキルのアップとスーパーバイズにより相談事業の充実を図る。</p> <p>また、子育て支援講座及び親子ひろば事業を充実し、子育て家庭の孤立化の防止と仲間づくりを促進する。さらに、児童虐待への対応及び未然防止を図るため、児童虐待防止啓発事業や養育家庭普及活動を実施するとともに、養育を特に支援する必要がある家庭への育児支援ヘルパーの派遣を行う。</p>		
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
	○	○	○	○	○

4-3-3

事業名	子ども養育専門法律相談事業				
事業概要	<p>子どもの利益を守るための法律的な相談（離婚、養育費、面会交流等）について、専門の弁護士がアドバイスを行う。</p>				
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
		○	○	○	○

4-3-4

事業名	障害児相談支援					
事業概要	<p>児童福祉法に基づき、障害児通所支援の利用の前に障害児の心身の状況、環境、その保護者の障害児通所支援利用に関する意向、その他事情を聞き取り、個々の状況に応じた障害児支援利用計画等を作成し、通所支援事業者と連絡調整を行う。</p> <p>さらに、定期的にモニタリングを行い、利用状況に応じて計画の見直しを行う。</p>					
計画目標	実績（平成30年度）			計画内容		
	<p>計画作成者数の実績は、前年度に比べ増加しているものの、作成者数、計画作成割合ともに目標値の達成には至らなかった。30年度に新規事業所が1件開設しているが、障害児相談支援の利用対象者は年々増加しており、それに対する区内の相談支援専門員の数が不足していることが課題である。また、障害児相談支援の必要性について、理解を得られにくい場合もあるため、周知の方策について検討を行う必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆計画作成者数 308人 ◆計画作成割合 57% 			<p>利用者及びその家族に対して、障害児相談支援の必要性や区内事業所について情報提供するとともに、希望する障害児やその家族が障害児相談支援を利用し、必要な情報の提供やサービスの利用支援等を得られるよう、区内及び近隣区等の相談支援事業所と連携を図っていく。</p>		
	項目	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
	計画作成者数	425人				
計画作成割合	73%					
対象ライフステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生	
		○	○	○	○	

4-3-5

事業名	就学前相談体制の充実				
事業概要	専門の委員からなる特別支援教育相談委員会（平成 26 年度に就学相談委員会から名称変更）を設置し、就学において特別な支援を必要とする児童・生徒が、可能な限り保護者の意見を尊重したうえで、個々のニーズに応じて適切な支援を受けられるようにする。				
計画目標	実績（平成 30 年度）		計画内容		
	保護者対象に就学相談説明会・学級見学会を実施し、特別な支援を必要とする児童・生徒の就学について相談を受けた。また、支援の専門家等で構成された就学相談委員会で審議し、児童・生徒が安心して就学できるよう相談体制の充実を図った。 ◆就学相談：小学校就学 80 件 中学校就学 42 件		個々のニーズに応じた適切な支援を行うため、特別支援教育相談委員会が円滑に運営できるよう相談体制の整備に取り組む。 特別支援連携協議会（専門家チーム）との連携により、就学前から就学後への継続的な相談体制の充実を図る。		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前（3 歳未満）	就学前（3 歳以上）	小学生	中高生
			○	○	○

4-3-6

事業名	総合相談室の充実				
事業概要	教育センター総合相談室では、0 歳から 18 歳までの子どもの心身の障害や発達上の何らかの心配について、また不登校、集団不応等々の教育上の悩みや心配について、専門のスタッフ（心理、言語、運動機能等）が相談に応じ、必要に応じて、個別指導やグループ指導等の発達支援や心理的援助等を行う。				
計画目標	実績（平成 30 年度）		計画内容		
	総合相談室では、0 歳から 18 歳までの子どもとその保護者を対象に、発達及び教育に係る相談を受け、必要に応じて発達支援や心理的援助等を行っている。 ◆総合相談室 年間相談件数 1,917 件 延べ相談回数 16,045 回		教育センター総合相談システムの活用により、増加している相談件数や複雑化かつ高度化している相談について情報共有を図り対応していくとともに、総合相談室の体制強化を検討する。		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前（3 歳未満）	就学前（3 歳以上）	小学生	中高生
		○	○	○	○

4-3-7

事業名	不登校への対応力強化				
事業概要	不登校の児童・生徒に対して、様々な専門家・専門機関が関わり対応を強化することで、生活リズムの立て直し、豊かな対人関係の経験、自己肯定感のアップに寄与し、児童・生徒一人ひとりが、将来に希望を持ち、より健康で充実した日々を送っていくことを支える。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
				○	○

4-3-8

事業名	ひきこもり等の自立支援				
事業概要	半年以上、就学・就労等の社会参加ができず、家族以外の人間関係がない状態（ひきこもり状態）にある若者の自立を図るため、本人やその家族の状況に合わせた相談事業や社会参加への意欲を向上させるための段階的なプログラムなどの支援事業を実施する。				
計画目標	実績（平成30年度）		計画内容		
	居場所事業、社会経験を積むための段階的なプログラムについて、初回から数回分を無料とした結果、新規利用者が増加し、自立へ踏み出す一歩となっている。茶話会6回 講演会・個別相談会3回実施した。また、関係機関連絡会を4回開催し、情報共有を図った。		ひきこもり状態にある若者やその家族を支援するため、相談事業や居場所事業の充実を図るとともに、社会経験を積むための段階的なプログラムを実施する。また、家族向けの講演会や個別相談会、茶話会を継続的に実施し、社会参加につなげる支援を行う。		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
					○

4-3-9

事業名	民生委員・児童委員、主任児童委員による相談援助活動				
事業概要	地域と行政機関のパイプ役である民生委員・児童委員協議会への支援や連携を通じて、地域社会の中で生活上の様々な問題を抱えている方への相談及び援助活動を行う。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
	○	○	○	○	○

4-3-10

事業名	保育園子育て相談				
事業概要	区立保育園において、乳幼児の子育てに関する相談を実施し、保護者の不安や悩みの軽減を図ることにより、地域の子育て支援の核としての役割を果たしていく。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
	○	○	○		

4-3-11

事業名	幼稚園子育て相談				
事業概要	区立幼稚園において、乳幼児の子育てに関する様々な相談に応じる。保護者の不安を受けとめることで、「親と子の育ちの場」としての役割を果たしていく。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
	○	○	○		

4-4 子どもの貧困対策

4-4-1

事業名	生活困窮者自立支援に基づく学習支援				
事業概要	生活困窮等の理由により、学習環境・生活環境に課題のある子どもに対し、学習面及び生活面の支援を総合的に行う。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
				○	○

4-4-2

事業名	入学支度資金融資あっせん				
事業概要	広く教育の機会の均等を図り有用な人材を育成することを目的に、区と協定を締結した取扱金融機関による融資をあっせんし、区は、利子補給（貸付利子 年 2.9%、保証料を含む）を行う。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
					○

4-4-3

事業名	奨学資金給付金制度				
事業概要	有用な人材を育成することを目的に、経済的理由により修学困難な生徒に対し、高等学校等へ入学するにあたり、奨学金を給付する。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
					○

4-4-4

事業名	就学援助				
事業概要	経済的な理由により就学が困難な児童・生徒に対して、就学に必要な費用（給食費、学用品費など）の援助を行う。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
				○	○

4-4-5

事業名	塾代等助成事業				
事業概要	就学援助補助対象世帯（生活保護受給世帯を除く）で、中学2年生又は3年生の生徒の保護者に対し、学習塾等の学校外学習にかかる費用の助成を行う。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
					○

4-4-6

事業名	学校給食補助				
事業概要	特別支援学級に在籍する児童・生徒を扶養している保護者及び児童・生徒を扶養しているひとり親家庭の保護者で、一定の所得基準未満の世帯に対して、給食費の補助を行う。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
				○	○

4-4-7

事業名	子ども宅食プロジェクト事業				
事業概要	子どものいる生活困窮世帯（児童扶養手当・就学援助受給世帯等）のうち、希望する世帯に対し企業等から提供を受けた食品等を配送する。定期配送をきっかけに、子どもとその家族を必要な支援につなげ、地域や社会からの孤立を防いでいく。				
計画目標	実績（平成30年度）		計画内容		
	文京区在住の児童扶養手当・就学援助受給者世帯を対象とし、LINE、電話、郵送、窓口にて通年申込受付を実施し、申込数全世界帯に対して延べ2,965世帯に配送した。		利用者アンケートを通じ、ニーズを把握するとともに、関係課との連携を深め、必要な支援を行う。		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
		○	○	○	○

4-4-8

事業名	子育て支援事業利用者負担軽減補助				
事業概要	<p>前年度住民税非課税の世帯や生活保護を受けている世帯を対象として、各種子育て支援サービスを利用した際の保育利用料の一部または全額を助成し、経済的な負担の軽減を図ります。</p> <p>【対象事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一時保育事業（キッズルーム） ・病児・病後児保育事業（訪問型のみ全額助成） ・子育て訪問支援券事業 ・ファミリー・サポート・センター事業 				
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
		○	○		

4-4-9

事業名	福祉手当の支給				
事業概要	<p>心身に障害のある方に対し、自立した地域生活を送るための一助となるように、心身障害者等福祉手当（区制度）・特別障害者手当等（国制度）・重度心身障害者手当（都制度）を支給する。（所得制限あり）</p>				
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
		○	○	○	○

4-4-10

事業名	児童育成手当（障害手当）の支給				
事業概要	<p>心身に一定程度以上（愛の手帳1～3度、身体障害者手帳1・2級、脳性マヒ又は進行性筋萎縮症）の障害のある満20歳未満の児童の養育者に手当を支給する。（所得制限あり）</p>				
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
		○	○	○	○

4-4-11

事業名	特別児童扶養手当の支給				
事業概要	<p>心身に一定程度以上（「身体障害者手帳」、「愛の手帳」1～3級（度））の障害等がある満20歳未満の児童の養育者に手当を支給する。（所得制限あり）</p>				
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
		○	○	○	○

4-4-12

事業名	ひとり親家庭等医療費助成				
事業概要	ひとり親家庭等の保健の向上と福祉の増進を目的として、児童とその養育者の医療費自己負担分のうち、一部または全部を助成する。 【対象】18歳に到達した年度の末日以前（身体障害1～3級または愛の手帳1～3度程度の障害を有する場合は20歳未満）の児童を養育しているひとり親家庭等（所得制限あり）				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
		○	○	○	○

4-4-13

事業名	児童扶養手当の支給				
事業概要	ひとり親家庭等に養育されている児童の心身の健やかな成長に寄与し、児童福祉の増進を図るため、児童扶養手当を支給する。（児童扶養手当法に基づく国の制度） 【対象】18歳に到達した年度の末日以前（身体障害者1～3級または愛の手帳1～3度程度の障害を有する場合は20歳未満）の児童を養育しているひとり親家庭等（所得制限あり）				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
		○	○	○	○

4-4-14

事業名	児童育成手当（育成手当）の支給				
事業概要	ひとり親家庭等に養育されている児童の心身の健やかな成長に寄与し、児童福祉の増進を図るため、児童育成手当を支給する。（児童育成手当条例に基づく区の制度）【対象】18歳に到達した年度の末日以前（身体障害者1～3級または愛の手帳1～3度程度の障害を有する場合は20歳未満）の児童を養育しているひとり親家庭等（所得制限あり）				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
		○	○	○	○

4-4-15

事業名	母子・父子自立支援員				
事業概要	ひとり親家庭等からの相談に応じ、必要な情報提供及び指導を行うとともに、母子及び父子福祉資金の貸付け及び母子生活支援施設への入所などを通して、母子・父子家庭の自立に向けた支援を行う。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
	○	○	○	○	○

4-4-16

事業名	母子家庭自立支援事業				
事業概要	児童扶養手当受給水準にあるひとり親家庭の父母が、より収入が高く安定した職に就くことができるよう、就職に有利な資格取得の支援として「母子及び父子家庭自立支援教育訓練給付金事業」及び「母子家庭及び父子家庭高等職業訓練促進給付金等事業」を実施する。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
		○	○	○	○

4-4-17

事業名	母子生活支援施設				
事業概要	配偶者のない女子又はこれに準ずる事情にある女子が、養育すべき児童(18歳未満)の福祉に欠けることがある場合、本人からの申し込みにより実情を調査し、必要があると認められる場合に母子生活支援施設において母子保護を実施する。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
		○	○	○	○

4-4-18

事業名	母子・女性緊急一時保護事業				
事業概要	配偶者等の暴力被害からの避難等で緊急に施設での保護が必要な母子や女性に、一時的に公的施設のほか、近隣のホテルや民間のシェルターを活用した保護と相談、援助を行う。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
	○	○	○	○	○

4-4-19

事業名	母子及び父子福祉資金				
事業概要	ひとり親家庭等に対し、経済的自立と生活意欲の助長、児童の福祉を増進するために必要とする資金を貸し付ける。 【対象】20歳未満の児童を扶養しているひとり親家庭等				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
		○	○	○	○

5 地域社会全体で子どもを育む体制の構築

5-1 地域との協働や地域活動の支援

5-1-1

事業名	文京区子育てサポーター認定制度				
事業概要	区の子育て支援事業等でも活用できる、横断的な認定制度と研修プログラムを区内関係機関の協力を得て開発し、新たに「文京区子育てサポーター認定制度」を導入する。さらに、地域の人材による子育て支援に関する連絡会「地域の子育てサポート連絡会」を開催し、ネットワークの形成を図る。【社会福祉協議会実施事業】				
計画目標	実績（平成30年度）		計画内容		
	<p>貞静学園短期大学等の協力を得て、子育てサポーター認定制度として、①「スタンダードサポーター認定研修」、②子ども・子育て支援新制度の子育て支援員研修（地域子育て支援拠点事業）のカリキュラムを取り入れた「アドバンスサポーター認定研修」を実施し、サポーターを認定した。</p> <p>◆スタンダードサポーター認定研修 2回開催 33人認定</p> <p>◆アドバンスサポーター認定研修 1回開催 30人認定</p>		区内大学や民間企業と協働で研修内容や研修規模の拡充を図り、ファミリー・サポート・センター事業や地域子育て支援拠点施設をはじめとする区の子育て関連事業の新たな担い手の発掘と養成を行う。		
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
		○	○	○	

5-1-2

事業名	ファミリー・サポート・センター事業				
事業概要	子育ての援助を受けたい区民と援助を行いたい区民が会員となり、地域の中で互いに助け合いながら子育てする相互援助活動を行う。				
計画目標	実績（平成 30 年度）			計画内容	
	<p>30 年度末の活動件数は対前年比 4%増となり、保育所・幼稚園の送迎、子どもの習い事等への援助等、目標を大きく上回る実績となった。また、子育てサポーター認定制度「スタンダードサポーター認定研修」受講者の依頼会員宅でのお預かりのほか、地域子育て支援拠点施設等の公共施設の一時利用を実施したことで、援助の機動性と質を高めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 依頼会員数 2,679 人 ・ 提供会員数 264 人 ・ 両方会員数 11 人 			<p>子育てサポーター認定制度を活用し、提供会員の質の向上を図るとともに、地域担当制をとり、提供会員と依頼会員のマッチングの向上を図る。</p>	
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前（3 歳未満）	就学前（3 歳以上）	小学生	中高生
	○	○	○	○	

5-1-3

事業名	小地域福祉活動の推進				
事業概要	<p>地域福祉コーディネーターを配置して、町会・自治会単位の小地域で起きている課題を掘り起こし、その解決に向けた取組を地域の人とともに考え関係機関等と連携をすることで「個別支援」や「地域の生活支援のしくみづくり」を行い、地域の支え合い力を高める。</p> <p>また、地域で解決できない問題や、既存の制度・サービスがない課題を解決するしくみづくりを行う。【社会福祉協議会実施事業】</p>				
計画目標	実績（平成 30 年度）			計画内容	
	<p>地域福祉コーディネーターが、地域に向いてニーズを把握し、地域活動の拠点となる常設の居場所である「多機能な居場所」の新たな立ち上げに向けて、支援を行った。また、居場所に入ってくるさまざまな相談に他機関と連携して対応しているとともに、町会単位での「みまもり活動」も少しずつ広がっている。</p>			<p>常設の「多機能な居場所」への助成により、ニーズがあっても立上げや継続が困難であった団体や地縁組織に支援を行っていく。また、「多機能な居場所」などで上がってきた、さまざまな相談を受け止まられるよう、ICT 等を活用した多機能ネットワークの構築を推進していく。</p>	
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前（3 歳未満）	就学前（3 歳以上）	小学生	中高生
	○	○	○	○	○

5-1-4

事業名	ふれあいいいききサロン事業					
事業概要	外出の機会が少なくなりがちな高齢者、障害者、子育て世代等が、食事会、健康体操、おしゃべり等を楽しむ場を通して、地域での交流を深めることにより、孤立化を予防し、地域の中で支え合い、だれもが安心して楽しく暮らせるよう、住民主体のサロンづくりを支援する。【社会福祉協議会実施事業】					
計画目標	実績（平成30年度）			計画内容		
	地域福祉コーディネーターが行う地域の居場所支援を通じて、16団体の新規のサロンが立ち上がった。常設型の居場所の立ち上げに伴い多様な世代の交流を目的とした活動が増え、また、活動内容についても多様性が見られるようになった。			担当地区の地域福祉コーディネーターが各団体の運営支援を行うとともに、新規のサロン立上げについて地域に出向いて相談を受けるなど、積極的に対応していく。		
	項目	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
	サロン設置数	120				
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生	
	○	○	○			

5-1-5

事業名	医療機関等による子育て関連事業への協力				
事業概要	医療機関、医師会等が行う子育て支援に関わる事業について、事業の周知などの活動支援を行う。				
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
	○	○	○	○	○

5-1-6

事業名	大学の子育て関連事業への協力				
事業概要	保育士等を養成する大学から学生を実習生として保育園等で受け入れるなど、子育て分野における大学との協力を促進する。				
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
		○	○		

5-2 子育て仲間作りの支援

5-2-1

事業名	保健サービスセンターにおける子育てグループ等支援				
事業概要	保健師や助産師が、身近な場所で子育てについての相談や情報交換を行い、父親を含めた交流や子育て経験者等の相談しやすい「話し相手」との交流などを行うことにより、地域で安心して子育てができる環境をつくる。具体的には、地域での仲間づくり、乳児の月齢や特徴に応じた交流機会を提供する。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
	○	○			

5-2-2

事業名	区立保育園の子育てステーション				
事業概要	区立保育園の子育てのノウハウを地域に還元するため、親子で保育プログラムを体験する機会を提供するとともに子育てに関する相談や情報提供を行う、地域子育てステーション事業を月1回、午前中1時間程度実施する。				
計画目標	実績（平成30年度）		計画内容		
	<p>月1回実施することで、参加した親子同士の交流や子育ての相談を通して、子育て世帯への支援に寄与している。利用人数については、急な感染症の流行等により、開催中止となる場合もあり、月によって変動する。</p> <p>【30年度】参加人数 2,055人</p>		<p>子育ての仲間づくりを行うとともに子育ての悩みや不安を軽減するため、より多くの親子が参加できるよう周知方法を工夫し、内容の充実を図る。</p>		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
	○	○	○		

5-2-3

事業名	地域団体による地域子育て支援拠点事業				
事業概要	地域で子育てを支援している団体等による地域子育て支援拠点事業を実施し、子育てサポーター認定制度の認定を受けたサポーターの新たな活躍の場とするとともに、子どもや子育て家庭を支える地域との繋がりが生まれる仕組みづくりを進め、「顔の見える」相手との信頼関係のもとで、地域で安心して子育てができるよう支援する。				
計画目標	実績（平成30年度）		計画内容		
	駒込地区の運営（こまびよのおうち）及び本富士地区（こそだて応援まちづら）の開設を行った。また、令和元年度に向けた、事業者の選定を実施した。		富坂地区・大塚地区・本富士地区・駒込地区の4地区に各1か所の拠点を安定的に運営するとともに、新規開設や既存施設の機能拡充を図る。		
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
		○	○		

5-2-4

事業名	子育てひろば事業				
事業概要	乳幼児及びその保護者が安心して遊べ、仲間作りもできる場を提供し、専門指導員による子育てに関する相談、援助及び子育て関連情報の提供を行うとともに、子育て支援に関する講習等を実施する。				
計画目標	実績（平成30年度）		計画内容		
	子育てひろば汐見・江戸川橋での日曜開館が定着し、利用実績も増加傾向にある。講習会等についても、利用者ニーズを反映した内容を工夫して開催している。 ◆登録者数 8,716人 ◆延べ利用者数 127,045人		区内5か所の子育てひろば（西片、汐見、水道、千石、江戸川橋）において、乳幼児とその保護者が安心して遊べる場や仲間づくりの場を提供するとともに、子育てに関する相談等の支援を行う。		
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
		○	○		

5-2-5

事業名	子ども食堂等支援事業				
事業概要	家庭の事情による孤食等の状況にある子どもたちに対する、食事提供の支援を含めた居場所づくりとしての「子ども食堂」等の地域活動を助成します。				
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
	○	○	○	○	○

5-2-6

事業名	児童館の乳幼児プログラム				
事業概要	児童館において、午前中に地域の乳幼児とその保護者を対象に、親子同士の交流・親睦を目的としたプログラムや、子育て交流講座など、親の子育てを支援する事業を行う。				
計画目標	実績（平成30年度）			計画内容	
	全児童館において、0～2歳児を対象に、乳幼児プログラム（手遊び、音楽、歌、体操など）を実施し、子育てに関する親への支援を行った。 ◆実施回数 2,181回 ◆延利用人数 33,122人			児童館で実施する、利用者のニーズにあわせた乳幼児プログラムのさらなる充実（父親の参加しやすいプログラムの実施等）や、子育て相談事業など、子育てを支援する事業の充実を図る。	
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
		○			

5-2-7

事業名	児童館の幼児クラブ				
事業概要	2歳児からを対象に、児童館において木曜日の午前中にプログラムを実施する。				
計画目標	実績（平成30年度）			計画内容	
	全児童館で体操、手遊び、読み聞かせ等のプログラムを実施し、子育て支援サービスの提供を行った。 ◆登録児童数 466人 延指導児童数 12,924人			2歳児からを対象に、全16児童館において木曜日の午前中にプログラムを実施する。子育て支援サービスを提供するため、利用者のニーズにあわせた幼児クラブ活動プログラムの内容の充実を図る。	
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
		○	○		

5-2-8

事業名	区立幼稚園施設開放				
事業概要	区立幼稚園において、園児及び未就学児に園庭等の施設を遊び場として開放し、地域の乳幼児が親子で安心して遊べる場、子ども同士で関わりがもてる場、保護者の交流を図る場としての役割を果たす。				
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
		○	○		

6 子どもを守る安全・安心なまちの環境整備

6-1 防災に関する取組

6-1-1

事業名	防災教室の実施				
事業概要	学校、保育園、幼稚園、町会、マンション等の単位で起震車及び煙体験ハウスの出張を行い、防災意識の普及啓発を図る。より多くの団体に体験してもらえるようPRを継続していく。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
	○	○	○	○	○

6-1-2

事業名	子育て支援施設への災害用備蓄物資の配備				
事業概要	一時保育施設等の子育て関連施設（児童館・育成室、キッズルーム、病児・病後児保育施設、子育てひろば、ぴよぴよ広場、保育園）において、利用時に災害が発生した際に必要な食糧等備蓄物資を配備する。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
		○	○		

6-2 青少年のための地域環境の整備

6-2-1

事業名	非行防止・更生保護の推進				
事業概要	毎年7月の「社会を明るくする運動強調月間（法務省主唱）」「青少年の非行問題に取り組む全国強調月間（内閣府主唱）」を機に、青少年の非行防止と健全育成並びに罪を犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪や非行のない明るい社会を築いていくための広報啓発活動（東京ドーム周辺広報活動、文京区社会を明るくする大会、文京矯正展等）を実施する。				
計画目標	実績（平成30年度）		計画内容		
	<p>7月の強調月間に、関係30団体で構成する文京区社会を明るくする運動推進委員会を中心として、東京ドーム周辺広報啓発活動（啓発物資の配布）、文京区社会を明るくする大会（中学生の意見発表等）及び文京矯正展（刑務作業製品の展示販売等）を実施して、非行防止と更生保護についての啓発を図った。</p> <p>実績人数としては、昨年度よりやや減少したが、参加者アンケートの内容は概ね好評であった。</p> <p>参加者数 3,597人</p>		<p>毎年7月に、すべての人々がそれぞれの立場で力をあわせ、犯罪や非行のない明るい社会を築いていくための広報啓発活動を展開する。</p> <p>また、関係30団体で構成する文京区社会を明るくする運動推進委員会を中心に、より効果的に運動の趣旨に対する啓発活動を推進していく。</p>		
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
			○	○	○

6-2-2

事業名	環境浄化推進運動				
事業概要	青少年の健全育成を阻害するおそれのある有害な図書類（雑誌、コミック等）、ビデオ類の販売やレンタルの自主規制を区内の各店舗に対して要請するほか、テレビ、インターネット等のメディアに対し、青少年に好ましくない番組放送等の自主規制を要請する。				
計画目標	実績（平成30年度）		計画内容		
	<p>青少年の健全育成を阻害するおそれのある有害な図書類、ビデオ類等の販売やレンタルの自主規制に関する要請について、青少年問題協議会において審議を行った。審議を踏まえ、要請文書を送付し、地域環境の浄化に努めた。</p> <p>◆要請件数 区内書店等 155 店舗</p> <p>◆メディア関連 9 団体</p>		<p>青少年健全育成を一層推進するため、引き続き販売店舗やメディアに対して自主規制を要請し、地域環境の浄化に努める。</p>		
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
			○	○	○

6-3 安心して外出できる環境の整備

6-3-1

事業名	バリアフリーの道づくり					
事業概要	文京区バリアフリー基本構想に基づき、生活関連経路（1次経路及び歩道のある2次経路）の歩道の拡幅、平坦性の確保、視覚障害者誘導用ブロックの設置などを行い、すべての人にやさしい道路の実現を図る。					
計画目標	実績（平成30年度）			計画内容		
	生活関連経路381mの整備を行い、整備率が2.8%上昇した。			バリアフリー基本構想における生活関連経路について、年間350mの整備を行い、整備率を2.5%ずつ上昇させる。		
	項目	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
	生活関連経路に指定された区道の整備率	10.0%	12.5%	15.0%	17.5%	20.0%
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生	
	○	○	○	○	○	

6-3-2

事業名	コミュニティ道路整備				
事業概要	幹線道路に囲まれた地区ごとに、地域住民等からなる協議会にてコミュニティ・ゾーン整備計画を策定し、面的かつ総合的な交通安全対策を推進していくことで、生活道路における歩行者等の安全な通行を確保する。				
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
	○	○	○	○	○

6-3-3

事業名	公園再整備事業				
事業概要	区立公園や児童遊園等をより安全・安心で快適なものとするため、公園再整備基本計画に基づき、地域住民主体の区民参画による計画的な公園の再整備を行う。				
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
	○	○	○	○	○

6-3-4

事業名	共同住宅等のバリアフリーの推進				
事業概要	子ども、妊産婦を含めたすべての人が安全、安心、快適に共同住宅等で生活できるよう、その整備に関する基準を定めることにより、福祉のまちづくりを推進する。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
	○	○	○	○	○

6-3-5

事業名	文京区バリアフリー基本構想の推進				
事業概要	バリアフリー基本構想の重点整備地区別計画に基づき、各施設設置管理者が特定事業を実施することで、重点的かつ一体的なバリアフリーを推進する。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
	○	○	○	○	○

6-3-6

事業名	安全・安心なまちづくり				
事業概要	文京区安全・安心まちづくり条例に基づき、安全・安心まちづくり推進地区の指定や防犯パトロール、メール等による情報発信など、地域の安全対策を推進する。				
計画目標	実績（平成30年度）		計画内容		
	<p>安全・安心まちづくり推進地区を新たに指定して助成を行ったほか、「文の京」安心・防災メールにより3防犯等安心情報を発信し、地域の安全対策を推進した。</p> <p>◆安全・安心まちづくり推進地区指定・助成 新規4地区</p> <p>◆「文の京」安心・防災メール発信 34件</p>		<p>安心・安全まちづくり推移地区の指定を行うとともに、推進地区への活動を支援する。</p> <p>また、安全・安心まちづくり活動を行う団体等への活動を支援する。</p> <p>さらに継続して、青色防犯パトロールを行うとともに、防犯等、安心情報の配信により、区民に注意喚起を行う。</p>		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
	○	○	○	○	○

6-3-7

事業名	安全・安心な公園づくり					
事業概要	区立公園や児童遊園での事故やトラブルを抑止し、安全・安心な環境を提供するために、防犯カメラを設置する。					
計画目標	実績（平成30年度）			計画内容		
	計画的な巡視に加え、緊急的な対応や注意・指導の強化を行ってきた。その結果、迷惑行為を減少させることができた。			設置要綱等を策定するとともに、整備を行う公園等に設置する。 令和2年度より4年間を目途に、順次設置する。		
	項目	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
	防犯カメラ新規設置園数	29	25	24	27	
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生	
	○	○	○	○	○	

6-3-8

事業名	コミュニティバス運行				
事業概要	公共交通不便地域を解消することにより、区民等の利便性を高めるとともに、人の動きを活発にし、地域の魅力や活力を引き出す。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
	○	○	○	○	○

6-4 子どもの安全の確保

6-4-1

事業名	犯罪の被害防止対策の推進				
事業概要	子どもが事件に遭遇した際、緊急に避難できる場所を確保するとともにその目印として子ども110番ステッカーを掲示する。				
計画目標	実績（平成30年度）			計画内容	
	<p>新たに子ども110番ステッカーの貼付に協力していただける方がいる一方、転居や高齢を理由に協力を終了する方も増えている中で、区立小学校PTA連合会の協力により、ステッカー貼付場所及び協力者の確認を行い、信頼性の高い事業展開を図った。また、小学1年生に周知用ステッカーを配布、その際に保護者宛の案内文書を同封し、事業の周知及び新規協力者の募集を行った。</p> <p>協力件数 1,607件</p>			<p>子どもが事件に遭遇した際、緊急に避難できる場所を確保するとともに、その目印として子ども110番ステッカーを掲示する。区立小学校PTA連合会や区内商店や事業所、警察署等と連携を図り、事業の周知に努めていく。また、例年のとおり小学1年生に周知用ステッカーを配布する。</p>	
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
			○	○	○

6-4-2

事業名	安全・安心な学校づくり				
事業概要	<p>交通事故や不審者等の身の危険から子どもたちを守るため、以下の事業を実施し、ハード・ソフト両面からの見守り体制を整備する。</p> <p>【スクールガード事業】区立小学校で実施。保護者を中心としたボランティアにより、通学路や地域の子どもの見守りを行う。</p> <p>【学校・幼稚園情報配信システム】区立全幼稚園、小学校、中学校に通う幼児・児童・生徒・の保護者を対象に、事前に登録してもらっているメール、電話、FAXのいずれかに加え、無料通信アプリにも一斉送信し、迅速な情報伝達、学校と各家庭の間での情報の共有を図る。</p>				
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
			○	○	○

6-4-3

事業名	交通安全教育の実施				
事業概要	<p>関係機関と協力し、地域の実態や幼児・児童・生徒の生活実態に即した計画的かつ組織的な交通安全教育を行うとともに、通学時等における子どもたちの安全を確保する。また、広く区民の交通安全意識の高揚を訴えるとともに参加・体験型の実践教育を推進する。</p>				
対象ライフステージ	妊娠期	就学前（3歳未満）	就学前（3歳以上）	小学生	中高生
			○	○	○

6-5 良好な居住環境の確保

6-5-1

事業名	区立住宅の運営				
事業概要	中堅所得者層の家族世帯に区立住宅を供給し、良好な居住環境を確保する。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
	○	○	○	○	○

6-5-2

事業名	居住支援の推進				
事業概要	住宅の確保に配慮を要するひとり親家庭及び障害のある子どもの家庭の入居を拒まない民間賃貸住宅の確保を進め、円滑な入居を促進する。また、継続的に安心して暮らせるよう関係機関と連携を図り支援するとともに、文京区、不動産関係団体、居住支援団体からなる「文京区居住支援協議会」において住まい方に関する支援を検討していく。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
		○	○	○	○

6-5-3

事業名	市街地再開発における住宅供給				
事業概要	市街地再開発事業等により、子育て支援施設を併設した良質な住宅の供給を図る。				
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生
	○	○	○	○	○